



「荻窪三庭園」は、昭和初期から中期にかけて現在の荻窪二丁目、三丁目にくらした著名人たち三か所のすまいを、杉並区がそれぞれ整備した公園です。

この展示では、各公園の公式インスタグラムの美しいタイムラインの一部をパネルにし、「荻窪三庭園リアルインスタ」としてご紹介します。

荻窪三庭園への思い

杉並区は、荻窪駅周辺まちづくり方針において「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」という目標を掲げています。

大田黒公園、角川庭園、荻外荘公園は、かつて著名人が暮らした場所であり、園内には歴史的・文化的価値が高い建築が残されています。杉並区は、地域の方が大切に想っているこれらの地域資源を、めぐって楽しい「荻窪三庭園」として一体的に運営し提供することが、まちづくりの目標を達成する重要な鍵だと考えました。

荻窪三庭園を訪れた方に何度でも足を運んでいただきたい。そのために、歴史・文化・芸術等に造詣があり、荻窪三庭園の価値を今まで以上に発揮することができる民間事業者を施設運営パートナーとして迎えました。

そして、この荻窪三庭園を次の世代につなぐために、杉並区、施設運営パートナー、そして地域住民が連携し、持続的な運営に取り組んでいます。

杉並区

